

syllabus

教科名 硬筆書写

	前期	後期
コマ数	1	0.5

総時数
55

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務コース・診療情報管理コース)

担当教員 下道 智恵子

目的	硬筆による漢字(楷書、行書)平仮名、片仮名、ローマ字、アラビア数字及び、符号など正しく、美しく書くことを学び、それらを調和させて書くことが出来る。また硬筆書写技能検定3級合格に向け能力の向上を図る。
----	---

授業概要	前期	後期
	① 片仮名	① 履歴書を書く
	② 平仮名、速書き	② ”
	③ 漢字楷書	③ 履歴書、添え状
	④ 漢字行書	④ 病院実習 お礼状
	⑤ 漢字仮名交じり文 縦書き	⑤ 角2封筒の書き方
	⑥ ” 横書き	⑥ 硬筆書写技能検定試験対策
	⑦ はがき 表書き	⑦
	⑧ 掲示を書く	⑧
	⑨ 漢字の部分名称	⑨
	⑩ 漢字の筆順(楷書)	⑩
	⑪ 草書を読む(文の中で)	⑪
	⑫ 漢字の字体(間違い探し)	⑫
	⑬	⑬
⑭	⑭	

評価方法	中間試験・期末試験 100点満点の平均点数 課題提出50% 定期試験50% 計100%での評価とする
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	硬筆書写技能検定3級合格のポイント	適宜手作り教材のプリントを配布	

その他	1月 硬筆書写技能検定試験
-----	---------------

syllabus

教科名 **秘書概論**

	前期	後期	総時数 74
コマ数	1	1	

開講学科 **医療事務学科1年**
(医療事務コース・診療情報管理コース)

担当教員 **堂下 智子** **実務経験：秘書・営業事務・証券外務員**

目的	秘書検定合格を目標として、ビジネスシーンで必要になる実務の内容を基本から学ぶ。業務中に起こる予想外のアクシデントなど実例をもとに解説し、冷静に考え対処できるようにする。
----	--

授業概要	① 礼の必要性・検定に向けての勉強の進め方	後期	① 礼・挨拶のしかた
	② 挨拶・身だしなみ・社会人として必要な心構え		② ファイリング・名刺整理
	③ 一般知識(社会常識・経営学・一般会計・財務に関する用語)		③ 席次 お茶の出し方 名刺交換
	④ 接遇		④ 環境整備・什器
	⑤ 敬語 謙譲語・丁寧語		⑤ 各種グラフの書き方 メールの書き方と送り方
	⑥ 敬語 尊敬語		⑥ 弔事の対応、慶事のしきたり パーティーマナー・ドレスコード
	⑦ 慶弔時のマナー		⑦ 郵便・宅配での発送方法
	⑧ 贈答のマナー		⑧ 機密文書の取り扱い・郵送方法
	⑨ 上書き		⑨ 会議の準備・進行
	⑩ 交際のマナー		⑩ アポイントなしの来客対応
	⑪ 会議に関する知識		⑪ 上司への進言、後輩指導、説明の方法
	⑫ 社外・社内文書の作成		⑫ 苦情の応対方法、断り方
	⑬ 事務機器の名称・使用方法		⑬ 電話対応・メモの書き方
	⑭ 来客対応		⑭ 経済・政治用語、略語

評価方法	平常時の確認テスト・提出物10%・出席率10%、中間・期末試験80%を併せて100点満点で評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	秘書検定クイックマスター3級 秘書検定クイックマスター2級 秘書検定2級集中講義		

その他	11月 秘書技能検定試験3級 2月 秘書技能検定試験3級
-----	------------------------------

syllabus

教科名

ビジネスマナー

	前期	後期
コマ数	1	1

総時数
28

開講学科 医療事務学科 2年
(医療事務・診療情報管理コース)

担当教員 堂下 智子

実務経験：秘書・営業事務・証券外務員

目的	ビジネスマナーの中でもビジネス文書について学び、際に必要な文書が適切に作成できるようになることを目標にする。手紙文を書くにあたりルールや用紙の選択も習得する。受け取る側にいかに良い印象を持ってもらえるか、そのためにどのような工夫が必要かなど具体例を説明する。
----	---

授業概要	前期	後期
	① ビジネス文書の必要性 (使用頻度の高い漢字)	①
	② 文書作成のルール(レイアウト、接続詞、漢字とひらがなの使い分け)	②
	③ 社外文書の書き方	③
	④ 社内文書の書き方	④
	⑤ 手紙文における慣用句	⑤
	⑥ 適切な用紙の選び方と郵送方法	⑥
	⑦ 帳票作成、印鑑について	⑦
	⑧ 電話対応①受信	⑧
	⑨ 電話対応②発信	⑨
	⑩ 電話対応③わかりやすい伝言メモの書き方	⑩
	⑪ 相手によって伝え方を工夫する方法	⑪
	⑫ スタッフとのコミュニケーション	⑫
	⑬ 禁止、依頼事項を伝える方法	⑬
	⑭ 冠婚葬祭時の注意	⑭

評価方法	平常時の確認テスト・提出物10%・出席率10% 期末試験80%を併せて100点満点で評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	ビジネス文書実問題集3級	ビジネスマナー検定実問題集3級 ビジネスマナー検定実問題集2級	

その他	11月 ビジネス実務マナー技能検定試験3級、2級 12月 ビジネス文書技能検定試験3級
-----	--

syllabus

教科名 **医療関連法規 I**

	前期	後期	総時数 74
コマ数	1	1	

開講学科 **医療事務学科 1年**
(医療事務・診療情報管理コース)

担当教員 **柴田 達也** 実務経験: 医療事務・診療情報管理

目的	実務における事例を参考に医療関係法律、告示、通知および療養担当規則の目的・内容および遵守の必要性の理解を目指す。
----	--

授業概要	前期	後期
	① 医療関連法規の種類 ② 第1章 医療施設に関する法規 医療法① ③ 医療法② ④ 医療法③ ⑤ 医療法④ ⑥ 第2章 医療従事者に関する法規 1. 医師法① ⑦ 1. 医師法② 3. 保健師助産師看護師法 ⑧ 4. 薬剤師法 ⑨ 5. 診療放射線技師法 6. 臨床検査技師等に関する法律 ⑩ 7. 理学療法士及び作業療法士法 9. 言語聴覚士法 ⑪ 8. 視能訓練士法 10. 栄養士法 ⑫ 11. その他の医療従事者 に関する法規① ⑬ 11. その他の医療従事者 に関する法規② ⑭	① 第3章 予防衛生に関する法規 2. 感染症法① ② 2. 感染症法② ③ 2. 感染症法③ ④ 1. 予防接種法 学校保健安全法、検疫法 ⑤ 第4章 保健衛生に関する法規 1. 地域保健法 ⑥ 2. 精神保健福祉法① ⑦ 2. 精神保健福祉法② ⑧ 6. がん対策法 7. 健康増進法 ⑨ 第5章 薬事関連法規 1. 医薬品医療機器等法① ⑩ 1. 医薬品医療機器等法② ⑪ 2. 麻薬及び向精神薬取締法 3. 血液製剤確保等に関する法律 ⑫ ⑬ ⑭

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数評価
------	---------------------------

教科書	教科書	教材	備考
教科書 教材	医療関連法規 知っておきたい公費 医療事務講座)テキスト1	資料および問題を作成	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 医療関連法規Ⅱ

	前期	後期
コマ数	1	

総時数
28

開講学科 医療事務学科 2年
(医療事務・診療情報管理コース)

担当教員 柴田 達也 実務経験：医療事務・診療情報管理

目的	実務における事例を参考に医療関係法律、告示、通知および療養担当規則の目的・内容および遵守の必要性の理解を目指す。
----	--

授業概要	前期	後期
	① 第4章 保健衛生に関する法規 3. 母体保護法 ② 4. 母子保健法 ③ 第7章 医療保険に関する法規 1. 健康保険法① ④ 1. 健康保険法② ⑤ 4. 国民健康保険法 ⑥ 5. 高齢者医療確保法 ⑦ 第8章 社会福祉関連法規 3. 児童福祉法 ⑧ 6. 障害者総合支援法 ⑨ 第10章 療養担当規則 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭

評価方法	期末試験による100点満点の平均点数評価
------	----------------------

教科書	教科書	教材	備考
教科書 教材	医療関連法規 知っておきたい公費 医療事務講座)テキスト1	資料および問題を作成	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 **検査と薬品**

	前期	後期	総時数 66
コマ数	1	1	

開講学科 医療事務学科2年
(医療事務・診療情報管理コース)

担当教員 合田 由美子 実務経験: 薬剤師

目的	薬剤師として病院、調剤薬局での実務経験のある講師が、検査と薬理学について、病院など医療機関で仕事をする上で必要となる基礎知識、常識を習得させる。
----	--

授業概要	前期 検査の基礎知識	後期	
	① 一般検査	① 薬理学総論①	
	② 血液検査	② 薬理学総論②	
	③ 生化学的検査①	③ 末梢神経系作用薬	
	④ 生化学的検査②	④ 中枢神経系作用薬	
	⑤ 免疫学的検査	⑤ 消化器系疾患に用いる薬物	
	⑥ 輸血検査・微生物検査	⑥ 循環器系疾患に用いる薬物	
	⑦ 病理組織学的検査・染色体検査	⑦ 代謝系疾患に用いる薬物	
	⑧ 生理機能検査・前期のまとめ	⑧ 呼吸器系疾患に用いる薬物	
	⑨	アレルギー性疾患治療薬	
	⑩	⑨ 抗炎症薬	
	⑪	ホルモン・ビタミン製剤	
	⑫	⑩ 貧血および血液系疾患治療薬	
	⑬	感染症治療薬	
⑭	⑪ 輸液製剤		
	後期まとめ		

評価方法	毎回ノート提出により30%、筆記による期末試験により70% 計100%での評価
------	--

教科書 教材	教科書 新医療秘書医学シリーズ⑤ 検査・薬理学	教材 講師作成プリント	備考

その他	
-----	--

syllabus

教科名 **医療保障**

	前期	後期	総時数 74
コマ数	1	1	

開講学科 **医療事務学科 1年**
(医療事務・診療情報管理コース)

担当教員 **柴田 達也** **実務経験：医療事務・診療情報管理**

目的	健康保険法、国民健康保険法など各法別に学習し、医療保障制度と国民・社会との関わりについて学習する。実務における事例を参考に、医療事務員として基礎的な知識の構築を目指す。
----	--

授業概要	前期	後期
①	1部 医療機関の概要 医療保険のしくみ(フローグ)	① 4章 医科・歯科医療事務の仕事 I 日常業務(受付業務)
②	1章 医療機関と薬局 I 医療機関①(医療法より)	② I 日常業務(料金計算・会計業務) II 請求事務
③	I 医療機関② (開設者により)	③ 2部 その他の関連制度 1章 I 公費負担医療制度の概要
④	II 薬局 III 医療機関と薬局の関係	④ II 主な公費負担医療制度① (生活保護法:12)
⑤	2章 医療保障制度 I 医療保障制度の体系	⑤ II 主な公費負担医療制度② (難病法など:54、51、52)
⑥	II 医療保険制度	⑥ II 主な公費負担医療制度③ (感染症法:29、28、10、11)
⑦	III 医療保険の種類① (社保)	⑦ II 主な公費負担医療制度④ (精神保健福祉法:20)
⑧	III 医療保険の種類② (国保)	⑧ III その他助成制度 IV レセプトの記載
⑨	III 医療保険の種類③(後高) IV 被保険者証	⑨ 2章 その他の医療関係制度 I 労災保険・自賠責保険
⑩	3章 保険給付 I 保険給付の範囲と種類	⑩ II 介護保険
⑪	II 給付割合と患者負担	⑪ 3章 算定・請求の電子化 4章 医療事務スタッフの心構え
⑫	III 高額療養費	⑫
⑬	IV 長期高額療養費 V 保険外併用療養費	⑬
		⑭

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数評価
------	---------------------------

教科書	教科書	教材	備考
教科書 教材	医療事務講座)テキスト1 医療関連法規 知っておきたい公費	資料および問題を作成	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 医学・医療用語 I

	前期	後期
コマ数	1	1

総時数
74

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務・診療情報管理コース)

担当教員 伊東 登

目的	医療現場で使われている医学用語・英語の語彙について、解剖生理学・臨床医学などの知識を用いながら解説する。
----	--

授業概要	前期 概論	後期	
	① 循環器用語	① 皮膚・感染・寄生虫用語	
	② 呼吸器用語	② 精神医学用語	
	③ 消化器用語(1)	③ 乳腺用語	
	④ 消化器用語(2)	④ 妊娠・分娩・周産期用語	
	⑤ 泌尿器用語	⑤ 演習	
	⑥ 演習	⑥ 略語(1)	
	⑦ 代謝内分泌用語	⑦ 略語(2)	
	⑧ 神経用語	⑧ 造語の基本	
	⑨ 感覚器用語	⑨ 接頭語(1)	
	⑩ 骨格用語(1)	⑩ 接頭語(2)	
	⑪ 骨格用語(2)	⑪ 接尾語(1)	
	⑫ まとめ	⑫ 接尾語(2)	
	⑬ 演習	⑬ まとめ	
⑭	⑭ 演習		

評価方法	課題提出50% 中間・期末試験50% 計100%での評価
------	------------------------------

教科書 教材	教科書 診療情報管理II	教材 プリント、DVD	備考

その他	診療情報管理士
-----	---------

syllabus

教科名 医学・医療用語Ⅱ

	前期	後期	総時数 66
コマ数	1	1	

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 伊東 登

目的	医療現場で使われている医学用語・英語の語彙について、解剖生理学・臨床医学などの知識を用いながら解説する。1年次の内容よりも専門的な用語を多くとりあげる。また診療情報管理士試験対策も多く行う。
----	---

授業概要	前期	後期
	① 概論 ② 循環器用語(応用編) ③ 呼吸器用語(応用編) ④ 消化器用語(応用編1) ⑤ 消化器用語(応用編2) ⑥ 泌尿器用語(応用編) ⑦ 代謝内分泌用語(応用編) ⑧ 神経用語(応用編) ⑨ 感覚器用語(応用編) ⑩ 骨格用語(応用編1) ⑪ 骨格用語(応用編2) ⑫ まとめ(1) ⑬ まとめ(2) ⑭ 演習	① 皮膚・感染・寄生虫用語(応用編) ② 精神医学用語(応用編) ③ 乳腺用語(応用編) ④ 妊娠・分娩・周産期用語(応用編) ⑤ 接頭語(応用編1) ⑥ 接頭語(応用編2) ⑦ 接頭語(応用編3) ⑧ 接尾語(応用編1) ⑨ 接尾語(応用編2) ⑩ 接尾語(応用編3) ⑪ まとめ(1) ⑫ まとめ(2) ⑬ まとめ(3) ⑭ 演習

評価方法	課題提出50% 中間・期末試験50% 計100%での評価
------	------------------------------

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理Ⅱ	プリント、DVD	

その他	診療情報管理士
-----	---------

syllabus

教科名 人体構造・機能論 I

	前期	後期
コマ数	1	

総時数
36

開講学科 医療事務学科 1年
(医療事務コース・診療情報管理コース)

担当教員 坂田富貴子 実務経験: 看護師

目的	身体を形態・構造の面から探究する解剖学と、機能の面から解明する生理学を学ぶ。これにより生体のメカニズムを知り、実際の臨床での患者様の病態の具体例をもとに理解を深める。
----	---

授業概要	前期	後期
	① 細胞組織の発生 ② 神経組織、筋組織 ③ 上皮組織、腺組織 ④ ホルモンの生成と作用 ⑤ 血液、体液 ⑥ 頭蓋骨 ⑦ テスト ⑧ 脳脊髄液、大脳皮質 ⑨ 脊髄の神経組織 ⑩ 脳神経 ⑪ 体温の調節 ⑫ 交感神経、副交感神経 ⑬ 定期試験対策 ⑭ テスト	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭

評価方法	①期末試験による100点満点評価 ②平常点(出欠・学習態度・小テストの得点など) ①70%、②30%計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理士 I ぜんぶわかる人体解剖図	目で見える身体のメカニズム 解剖トレーニング プリン ト 解剖生理学ノート	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 人体構造・機能論Ⅱ

	前期	後期
コマ数		1

総時数
38

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務コース・診療情報管理コース)

担当教員 坂田富貴子 実務経験: 看護師

目的	身体を形態・構造の面から探究する解剖学と、機能の面から解明する生理学を学ぶ。これにより生体のメカニズムを知り、実際の臨床での患者様の病態の具体例をもとに理解を深める。
----	---

授業概要	前期	後期
	①	① 皮膚と目の構造
②	② 耳、呼吸運動	
③	③ 心臓の形態と構造	
④	④ 刺激伝導系、血液循環	
⑤	⑤ 消化器とは	
⑥	⑥ 食道、胃、十二指腸	
⑦	⑦ テスト	
⑧	⑧ 小腸、大腸	
⑨	⑨ 肝臓、胆のう	
⑩	⑩ 腎臓について	
⑪	⑪ 腎臓の機能、生殖器	
⑫	⑫ 上肢帯、下肢帯	
⑬	⑬ テスト	
⑭	⑭	

評価方法	①期末試験による100点満点評価 ②平常点(出欠・学習態度・小テストの得点など) ①70%、②30%計100%での評価
------	---

教科書	教科書	教材	備考
教科書 教材	診療情報管理士 I ぜんぶわかる人体解剖図	目で見える身体のメカニズム 解剖トレーニング プリン ト 解剖生理学ノート	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 医療概論

	前期	後期
コマ数	1	

総時数
36

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務・診療情報管理コース)

担当教員 松坂 俊・竹田 圭子

実務経験: 医師・看護師

目的	基礎医学の枠組みを理解し、医学と医療の歴史を踏まえた上で、社会保険・地域保健・予防医学を含めた現代医療の概要について学ぶ。さらに実務経験上の実例のもとで、臨床の実際と知識をアジャストでき、即戦力となり得るスキルを身につける。
----	--

授業概要	前期	後期
	(1) 医学と医療	
	(2) 世界の医学と医療の歴史 (古代～中世)	
	(3) 世界の医学と医療の歴史 (近世～現代)	
	(4) 日本の医学と医療の歴史	
	(5) 現代医療	
	(6) 医の倫理	
	(7) 脳死と臓器移植	
	(8) 個人情報	
	(9) 社会保障制度	
	(10) 医療制度	
	(11) 医療計画	
	(12) 地域保健	
	(13) 予防医学	

評価方法	① 中間試験・期末試験による100点満点評価の平均点数 ② 平常点(出欠状況・課題の取り組み状況など) ①90%、②10%、計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理 基礎・医学編 (日本病院会)		

その他	
-----	--

syllabus

教科名 臨床医学総論
(外傷学・先天異常等含む)

	前期	後期
コマ数		1

総時数
38

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務コース・診療情報管理コース)

担当教員 星 哲哉・坂田富貴子

実務経験: 医師・看護師

目的	医学は人体の仕組みを理解し、病気の原因、病態、診断、治療、予後などについて研究する学問であることを理解する。又、私自身が臨床で得た知識を講義することで、学生に理解を深めてほしい。
----	---

授業概要	前期	後期
	①	① 健康と疾病
②	② 病気になる組織、臓器の変化	
③	③ 検査所見	
④	④ 治療の方針	
⑤	⑤ 神経系の先天奇形	
⑥	⑥ 呼吸器系の先天奇形	
⑦	⑦ 定期テスト	
⑧	⑧ 消化器系の先天奇形	
⑨	⑨ 生殖器の先天奇形	
⑩	⑩ 筋骨格系の先天奇形	
⑪	⑪ 染色体異常	
⑫	⑫ 定期テスト対策	
⑬	⑬ テスト	
⑭	⑭	

評価方法	①中間試験・期末試験による100点満点評価の平均点数 ②平常点(出欠状況・課題の取り組み状況など) ①90%、②10%、計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理士 I	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進 身体の辞典	

その他	病院の検査の仕組み プリント
-----	----------------

syllabus

教科名 臨床医学各論 I
(感染症及び寄生虫症)

	前期	後期	総時数 38
コマ数		1	

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 星 哲哉・坂田富貴子

実務経験: 医師・看護師

目的	感染症の原因となる細菌、ウイルスなどの病原体についての知識を習得し、各感染症の特徴・症状・所見・診断法・治療法を学ぶ。さらに私自身が臨床で得た知識を講義の中で学生に伝え理解をより深めさせる。
----	---

授業概要	前期	後期
	①	① 病原微生物の種類
②	② 感染症の検査所見	
③	③ 腸管感染症	
④	④ 結核、人畜共通細菌性疾患	
⑤	⑤ 性的伝播様式を取る感染症	
⑥	⑥ クラジミによる感染症	
⑦	⑦ 定期テスト	
⑧	⑧ 中枢神経系のウイルス感染症	
⑨	⑨ 皮膚及び粘膜病変の感染症	
⑩	⑩ HIV、真菌症	
⑪	⑪ 原虫感染症	
⑫	⑫ 蠕虫症、アニサキス症	
⑬	⑬ まとめ	
⑭	⑭ 定期テスト	

評価方法	①期末試験による100点満点評価 ②平常点(出欠・学習態度・小テストの得点など) ①70%、②30%計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書 診療情報管理 I	教材 病気が見える プリント 分かりやすい微生物	備考

その他	
-----	--

syllabus

教科名 臨床医学各論Ⅱ
(新生物)

	前期	後期
コマ数		1

総時数
38

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 松坂 俊・竹田 圭子

実務経験: 医師・看護師

目的	既習の人体の解剖・生理の一般的な知識を踏まえ実務経験上の実例のもとで、体内に増殖する新生物について学び、そのメカニズムや症状、治療などへの理解を深めるとともに、診療情報管理士の資格を取得するための医学的知識を身につける。
----	--

授業概要	前期	後期
		(1)新生物の分類・特徴
		(2)悪性新生物(口腔・咽頭)
		(3)悪性新生物(食道・胃・大腸)
		(4)悪性新生物(肝・胆道・膵臓)
		(5)悪性新生物(呼吸器)
		(6)悪性新生物(骨・皮膚)
		(7)悪性新生物(乳房)
		(8)悪性新生物(生殖器)
		(9)悪性新生物(腎・尿路)
		(10)悪性新生物(脳・内分泌腺)
		(11)悪性新生物(リンパ組織)
		(12)悪性新生物(造血組織)
	(13)良性新生物	

評価方法	①期末試験による100点満点評価 ②平常点(出欠・学習態度・小テストの得点など) ①70%、②30%計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編 (日本病院会)	診療情報管理士教育問題集 (日本病院会)	

その他	2月 診療情報管理士試験
-----	--------------

syllabus

教科名 臨床医学各論Ⅲ
(血液・代謝・内分泌等)

	前期	後期
コマ数	1	

総時数	28
-----	----

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 星 哲哉・坂田富貴子

実務経験: 医師・看護師

目的	血液、造血器、栄養、代謝、内分泌等の障害により病態が全身に関わる疾病について、それらの特徴と症状・所見・診断法を学ぶ。また私自身が臨床経験で得た知識を講義を通じて学生に伝え、より理解を深めてもらう。
----	---

授業概要	前期 血液の組成	後期
	①	①
	② 貧血の診断	②
	③ 鉄欠乏性貧血、巨赤芽球症	③
	④ 溶血性貧血、再生不良性貧血	④
	⑤ DIC、血友病、アレルギー性紫斑病	⑤
	⑥ ITP、無顆粒球症、	⑥
	⑦ 橋本病、バセドウ病	⑦
	⑧ クッシング症候群	⑧
	⑨ その他のホルモン異常	⑨
	⑩ テスト	⑩
	⑪	⑪
	⑫	⑫
	⑬	⑬
⑭	⑭	

評価方法	①期末試験による100点満点評価 ②平常点(出欠・学習態度・小テストの得点など) ①70%、②30%計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理 I	プリント 病気が見える 人体解剖、その他	

その他	2月、診療情報管理士認定試験
-----	----------------

syllabus

教科名 臨床医学各論Ⅳ
(精神・脳神経・感覚器系等)

	前期	後期
コマ数		1

総時数
38

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 松坂 俊・竹田 圭子

実務経験: 医師・看護師

目的	既習の人体の解剖・生理の一般的な知識を踏まえ、実務経験上の実例のもとで、脳神経・感覚器疾患について、メカニズムや症状、治療などへの理解を深めるとともに、診療情報管理士の資格を取得するための医学的知識を身につける。
----	--

授業概要	前期	後期
		(1)神経系の基礎知識
		(2)中枢神経系の炎症性疾患
		(3)中枢神経系の変性疾患
		(4)その他の脳神経疾患
		(5)神経、神経根、神経叢の障害
		(6)末梢神経の障害
		(7)神経接合部及び筋の疾患
		(8)脳性麻痺、その他の麻痺性症候群
		(9)眼及び付属器の疾患
		(10)視神経の障害
		(11)耳及び乳様突起の疾患

評価方法	①ペーパーテスト(期末試験による100点満点評価) ②平常点(出欠・学習態度・小テストの得点など) ①70%、②30%計100%での評価
------	--

教科書 教材	教科書 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編 (日本病院会)	教材 診療情報管理士教育問題集 (日本病院会)	備考

その他	2月 診療情報管理士試験
-----	--------------

syllabus

教科名 臨床医学各論Ⅴ
(循環器・呼吸器系)

	前期	後期
コマ数		1

総時数
38

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 星 哲哉・坂田富貴子

実務経験: 医師・看護師

目的	生命維持に直接かかわる循環器の疾病について、その特徴、症状、所見、診断法、治療法を学ぶ。また私自身が臨床で得た知識を講義を通じて学生に伝え、より理解を深める。
----	---

授業概要	前期	後期
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭	

評価方法	①期末試験による100点満点評価 ②平常点(出欠・学習態度・小テストの得点など) ①70%、②30%計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理士 I	病気が見える 身体の事典 プリント、DVD、 病気の地図帳	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 臨床医学各論VI
(消化器・泌尿器系)

	前期	後期	総時数 38
コマ数		1	

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 星 哲哉・坂田富貴子

実務経験: 医師・看護師

目的	腹部に位置する各種臓器(消化器)疾病について、その特徴、症状、所見、診断法、治療法を学ぶ。また私自身が臨床で得た知識を講義を通じて学生に伝え理解を深めてもらう。
----	--

授業概要	前期	後期
	①	① 食道疾患の症状、検査
②	② 胃、十二指腸の症状、検査	
③	③ アカラシア、マロリワイス症候群	
④	④ 胃潰瘍、十二指腸潰瘍	
⑤	⑤ 虫垂炎、ヘルニア	
⑥	⑥ クロウン病、潰瘍性大腸炎	
⑦	⑦ 虚血性大腸炎	
⑧	⑧ 肝疾患の検査、症状	
⑨	⑨ 急性肝不全、慢性肝炎	
⑩	⑩ 肝硬変、肝脂肪	
⑪	⑪ 胆石症、胆のう炎	
⑫	⑫ 急性膵炎、慢性膵炎	
⑬	⑬ 定期テスト	
⑭	⑭	

評価方法	①期末試験による100点満点評価 ②平常点(出欠・学習態度・小テストの得点など) ①70%、②30%計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書 診療情報管理 I	教材 病気が見える 身体の実事 プリント 病気の地図帳 DVD	備考

その他	
-----	--

syllabus

教科名 臨床医学各論Ⅶ
(周産期系)

	前期	後期	総時数 38
コマ数		1	

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 星 哲哉・坂田富貴子

実務経験: 医師・看護師

目的	周産期疾患及び新生児疾患を、解剖を基礎に総合的に学ぶ。また私自身が臨床で得た知識を講義を通じて学生に伝えより理解を深めさせる。
----	---

授業概要	前期	後期
	①	① 妊娠と出産、流産
②	② 正常分娩と異常分娩	
③	③ 妊娠高血圧症候群	
④	④ 妊娠悪阻、多胎妊娠	
⑤	⑤ 胎位異常、羊水過多	
⑥	⑥ 前置胎盤、常位胎盤早期剥離	
⑦	⑦ 早産、微弱陣痛	
⑧	⑧ 低出生体重児、新生児仮死	
⑨	⑨ 新生児良血性疾患	
⑩	⑩ テスト	
⑪	⑪	
⑫	⑫	
⑬	⑬	
⑭	⑭	

評価方法	①期末試験による100点満点評価 ②平常点(出欠・学習態度・小テストの得点など) ①70%、②30%計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理 I	プリント、DVD 病気が見える 人体解剖、その他	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 臨床医学各Ⅷ
(皮膚・筋骨格系)

	前期	後期
コマ数		1

総時数
38

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 松坂 俊・竹田 圭子

実務経験: 医師・看護師

目的	既習の人体の解剖・生理の一般的な知識を踏まえ、実務経験上の実例のもと、筋骨格系の疾患について、メカニズムや症状、治療などへの理解を深めるとともに、診療情報管理士の資格を取得するための医学的知識を身につける。
----	---

授業概要	前期	後期
		(1)関節障害(炎症)
		(2)関節障害(リウマチ)
		(3)全身性結合組織障害①
		(4)全身性結合組織障害②
		(5)全身性結合組織障害③
		(6)脊柱障害
		(7)脊柱障害②
		(8)椎間板ヘルニア
		(9)軟部組織障害①
		(10)軟部組織障害②
	(11)骨障害	

評価方法	①期末試験による100点満点評価 ②平常点(出欠・学習態度・小テストの得点など) ①70%、②30%計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理 I 基礎・医学編 (日本病院会)	診療情報管理士教育問題集 (日本病院会)	

その他	2月 診療情報管理士試験
-----	--------------

syllabus

教科名 医療管理総論

	前期	後期
コマ数	1	

総時数
28

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 渡辺 亜弥

目的	医療の成立における社会資源の必要性を理解し専門職とその他の医療関連職種に関わる人的・物的・財的・情報資源を具体的に理解する。 また超高齢化社会など、社会状況の変化に伴い現状を理解することで、より広い医療サービスの展開に対応できる能力を身に付ける。
----	--

授業概要	前期	後期
	① 授業の進め方について 物的資源、人的資源、財的資源、情報資源	①
	② 1-1 まとめテスト 医療保障、医療制度の詳細	②
	③ 国民医療費の現状と課題 1-2 まとめテスト	③
	④ 人口の推移 医療需要・医療供給	④
	⑤ 顕在需要と潜在需要 1-3 まとめテスト	⑤
	⑥ 地域医療 医療の提供構造	⑥
	⑦ 医療計画 1-4 まとめテスト	⑦
	⑧ 医療と保健衛生活動に関する法規 社会保障や保健および福祉に関する法規	⑧
	⑨ その他、病院の医療活動に関する主な法規 健康に関する主な法規	⑨
	⑩ 感染症法、医薬品などに関する法規 災害時などに適用される法規	⑩
	⑪ 職員に関する法規 がん対策基本法・がん対策推進基本計画	⑪
	⑫ 個人情報の保護に関する法律と指針 1-5 まとめテスト	⑫
⑬	⑬	

評価方法	小テスト30%・期末試験60%・出席率10%による100点満点評価 (平常点も含む)
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理Ⅲ (2017.7 第8版 第2刷)	診療情報管理士教育問題集 資料及び問題プリント	

その他	診療情報管理士認定試験
-----	-------------

syllabus

教科名 医療管理各論 I
(病院管理)

	前期	後期
コマ数	1	

総時数
28

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 渡辺 亜弥

目的	医療の分化・高度化によりチーム医療による実践の場である病院を的確に維持、運営していく上で重要な項目について学ぶ。 医療機関として機能を果たすために、経営管理がどのように関わってくるかを学び、情報を扱う重要性を理解する。
----	--

授業概要	前期	後期
	① 授業の進め方について 病院経営管理、プロセスとは ② 組織と機能、管理と組織 財務・経営管理 説明・問題 ③ 施設管理 医療管理、診療部門 説明・問題 ④ 看護部門 説明・問題 ⑤ 医療技術部門・診療協力部門 メディカルスタッフ部門 説明・問題 ⑥ 教育研究部門、診療情報管理部門 説明・問題 ⑦ スタッフ機能事務部門 ライン機能事務部門 説明・問題 ⑧ 施設・機器維持管理部門 労働安全衛生・環境衛生管理部門 ⑨ ハウスキーピング部門、チーム医療 とは 説明・問題 ⑩ チーム医療の主な活動 チーム医療の推進 説明・問題 ⑪ 期末試験 ⑫ ⑬ ⑭	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭

評価方法	小テスト30%・期末試験60%・出席率10%による100点満点評価 (平常点も含む)
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理Ⅲ (2017.7 第8版 第2刷)	診療情報管理士教育問題集 資料及び問題プリント	

その他	診療情報管理士認定試験
-----	-------------

syllabus

教科名 医療管理各論Ⅱ
(医療保険・介護保険制度)

	前期	後期	総時数
コマ数		1	38

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 渡辺 亜弥

目的	医療保険・介護保険制度についての基礎を学ぶ 診療報酬制度の変化によって、診療情報管理士の診療報酬に関係する領域の役割は拡大している。医事業務についてしっかりと理解した上で情報管理がいかに大切であることを学ぶ
----	--

授業概要	前期	後期
	①	① 授業の進め方について 医療保険の種類と保健給付・保険外給付
②	② わが国の診療報酬制度	
③	③ 保険診療と医療費の支払いの仕組み	
④	④ 診療報酬の請求について 3-1 まとめテスト	
⑤	⑤ ケースミックス区分法と診断群分類	
⑥	⑥ わが国の診断群分類誕生の背景	
⑦	⑦ DPC	
⑧	⑧ DPCと包括評価	
⑨	⑨ " 3-2 まとめテスト	
⑩	⑩ 介護保険制度の概要	
⑪	⑪ 3-3 まとめテスト	
⑫	⑫ 期末試験	
⑬	⑬	
⑭	⑭	

評価方法	小テスト30%・期末試験60%・出席率10%による100点満点評価 (平常点も含む)
------	---

教科書 教材	教科書 診療情報管理Ⅲ (2017.7 第8版 第2刷)	教材 診療情報管理士教育問題集 資料及び問題プリント	備考

その他	診療情報管理士認定試験
-----	-------------

syllabus

教科名	診療情報管理論 I (法令・諸規則)	前期	後期	総時数 14
		コマ数	0.5	

開講学科	医療事務学科2年 (診療情報管理コース)	看護師、医療事務 実務経験: 診療情報管理
担当教員	西村 智嘉男	

目的	学生が、診療情報管理に必要な言葉の意味を理解できるようになる。 実務経験を踏まえ、教科書に限定することなく、広く医療全体の実務的な知識を伝達する。
----	--

授業概要	前期	後期
	①	診療情報管理士とは
②	カルテの価値	②
③	診療情報管理の背景	③
④	カルテの保存期間と記載	④
⑤	カルテの電子化と法令	⑤
⑥	医療事故の責任	⑥
⑦	個人情報保護	⑦
⑧	診療情報の提供	⑧
⑨	診療記録の記載	⑨
⑩	総復習、期末テスト	⑩
⑪		⑪
⑫		⑫
⑬		⑬
⑭		⑭

評価方法	20点満点の小テスト(20%)と期末試験(80%)の合計点数を100点満点に補正して評価
------	--

	教科書	教材	備考
教科書 教材	「診療情報管理論 IV」 (社団法人 日本病院会発行)	毎回配布するレジュメと パワーポイントのスライドで授 業は進める	

その他	診療情報管理士認定試験
-----	-------------

syllabus

教科名 診療情報管理論Ⅱ
(診療情報管理士の実務)

	前期	後期
コマ数		0.5

総時数	19
-----	----

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 西村 智嘉男
実務経験: 看護師、医療事務
診療情報管理

目的	看護師、医療事務等の経験を踏まえ、診療情報管理に限定することなく、広く医療全体の実務的な知識を伝達する。学生が、診療情報管理に必要な言葉の意味を理解できるようになる。
----	---

授業概要	前期	後期
	①	① 診療記録の保管管理1
②	② 診療記録の保管管理2	
③	③ 診療記録の保管管理3	
④	④ 診療記録の保管管理4	
⑤	⑤ 診療情報の点検	
⑥	⑥ 電子カルテの運用	
⑦	⑦ 診療情報の提供	
⑧	⑧ 改善への取り組み1	
⑨	⑨ 改善への取り組み2	
⑩	⑩ 診療情報管理士とは何か	
⑪	⑪ 総復習1	
⑫	⑫ 総復習2 + 期末テスト	
⑬	⑬	
⑭	⑭	

評価方法	20点満点の小テスト(20%)と期末試験(80%)の合計点数を100点満点に補正して評価
------	--

	教科書	教材	備考
教科書 教材	「診療情報管理論Ⅳ」 (社団法人 日本病院会発行)	毎回配布するレジュメとパワー ポイントのスライドで授業は進 める	

その他	診療情報管理士認定試験
-----	-------------

syllabus

教科名 国際統計分類 I

	前期	後期
コマ数		1

総時数
38

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 盛永 剛 実務経験: 診療情報管理士

目的	「国際疾病分類=ICD」の歴史や使用目的を理解し、精度の高い情報を収集・活用できるよう、実務経験上の特異的な実例のもとで、実践的な技術の向上を図る。 関連するICDのファミリーについても学習する。
----	---

授業概要	前期	後期
		①診療情報管理士の業務例
		②わが国の人口動態統計
		③国際疾病分類の使用目的
		④国際疾病分類を利用した統計分類表
		⑤国際疾病分類の歴史
		⑥国際疾病分類の現状
		⑦国際疾病分類の構造
		⑧国際疾病分類の基本体系
		⑨国際疾病分類ファミリー論1
		⑩国際疾病分類ファミリー論2
		⑪国際疾病分類の利用
		⑫主要病態のコーディングと選択ルール
		⑬ICDを用いる上での注意点
	⑭期末試験	

評価方法	期末テストによる評価(100点満点)
------	--------------------

教科書 教科書 教材	教科書 診療情報管理IV 専門8章～12章第9版	教材	備考

その他	パワーポイントによる説明を中心とした授業を進める 「診療情報管理士」の資格取得を目指す
-----	--

syllabus

教科名 基礎医学概論

	前期	後期
コマ数	1	1

総時数	66
-----	----

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 竹田 圭子・坂田 富貴子

実務経験: 看護師

目的	<p>人体の解剖・生理の一般的な知識を踏まえ、実務経験上の実例のもと、皮膚、皮下組織及び精神科系の疾患について、メカニズムや症状、治療などへの理解を深めるとともに、診療情報管理士の資格を取得するための医学的知識を身につける。</p>
----	--

	前期	後期
授業概要	① 皮膚疾患の主な症状・検査・治療	① 軟部組織の損傷
	② 皮膚及び皮下組織の感染症・水疱症・皮膚炎及び湿疹	② 筋、腱損傷
	③ 丘疹落屑性障害・蕁麻疹及び紅斑	③ 靭帯損傷、頭部損傷
	④ 皮膚付属器の障害	④ 頸部損傷、胸部損傷
	⑤ 皮膚及び皮下組織の障害	⑤ 腹部、腰椎損傷
	⑥ 器質性精神障害	⑥ 肩及び上肢の損傷
	⑦ 統合失調症・妄想性障害	⑦ 肘及び前腕の損傷
	⑧ 気分・感情障害	⑧ 手首及び手の損傷
	⑨ 身体表現性障害	⑨ 大腿の損傷、下腿の損傷
	⑩ 行動障害	⑩ 薬物、生物学的製剤による中毒
	⑪ 知的障害・発達障害	⑪ アルコールの毒作用、有機溶剤の毒作用
	⑫ 小児から青年期に発症する情緒障害	⑫ 全身の毒作用、農薬の毒作用
	⑬ 食物としての毒作用	
	⑭ テスト	

評価方法	<p>①期末試験による100点満点評価 ②平常点(出欠・学習態度・小テストの得点など) ①70%、②30%計100%での評価</p>
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
	<p>診療情報管理 I 基礎・医学編 (日本病院会)</p>	<p>診療情報管理士教育問題集 (日本病院会) 病気が見える 身体の事典 病気の成り立ちと回復の促進</p>	

その他	2月 診療情報管理士試験
-----	--------------

syllabus

教科名 **医療情報技師講座**

	前期	後期	総時数 66
コマ数	1	1	

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 伊東 登

目的	病院で使われている電子カルテシステムや医療情報システムの管理を行う医療情報技師について、知識の習得と検定試験対策を行う。また統計処理について詳しい説明を行う。
----	---

授業概要	前期	後期
	① 概説 ② コンピューターの基礎(1) ③ コンピューターの基礎(2) ④ 医療情報システムの構成と機能 ⑤ 情報システムの基盤技術(1) ⑥ 情報システムの基盤技術(2) ⑦ 医療情報の標準化と活用 ⑧ 病院業務と病院の運営管理 ⑨ 医療情報の特性と医療の情報管理 ⑩ まとめ(1) ⑪ まとめ(2) ⑫ まとめ(3) ⑬ まとめ(4) ⑭ 演習	① コンピューターの基礎 ② ネットワーク技術 ③ データベース技術 ④ 情報セキュリティ ⑤ 情報システム開発・管理 ⑥ 医療情報の特性と医療情報システム ⑦ 病院情報システム ⑧ 標準化・情報分析 ⑨ 広域の医療情報システム ⑩ 医療制度 ⑪ 診療プロセス ⑫ 臨床検査 ⑬ 臨床看護 ⑭ 診療録他

評価方法	課題提出50%、期末試験50%、計100%での評価
------	---------------------------

教科書 教材	教科書	教材	備考
	医療情報の基礎知識(南江堂) 医療情報サブノート(篠原出版)	プリント、DVD	

その他	医療情報技師検定、医療情報基礎知識検定
-----	---------------------

syllabus

教科名	医療統計 I (統計理論)	前期	後期	総時数 38
		コマ数	1	

開講学科	医療事務学科2年 (診療情報管理コース)		
担当教員	西村 智嘉男	看護師、医療事務 実務経験: 診療情報管理	

目的	<p>統計的なものの考え方が身につき、学生自身の日常生活及び将来の仕事に活用できるようになる。</p> <p>看護師、医療事務等の経験を踏まえ、医療統計に限定することなく、広く医療全体の実務的な知識を伝達する。</p>
----	---

授業概要	前期	後期
	①	
②		② 平均にだまされるな
③		③ ばらつきを数値化する1
④		④ ばらつきを数値化する2
⑤		⑤ 正規分布を理解する1
⑥		⑥ 正規分布を理解する2
⑦		⑦ 推測統計学とは何か1
⑧		⑧ 推測統計学とは何か2
⑨		⑨ 統計学的仮説検定とは何か1
⑩		⑩ 統計学的仮説検定とは何か2
⑪		⑪ 2変数の関係を表現する1
⑫		⑫ 2変数の関係を表現する2
⑬		⑬ 総復習 + 期末テスト
⑭		⑭

評価方法	20点満点の小テスト(20%)と期末試験(80%)の合計点数を100点満点に補正して評価
------	--

	教科書	教材	備考
教科書 教材	「診療情報管理論 Ⅲ」 (社団法人 日本病院会発行)	毎回配布するレジュメとパワーポイントのスライドで授業は進める	

その他	診療情報管理士認定試験
-----	-------------

syllabus

教科名 診療報酬請求事務 I

	前期	後期	総時数 334
コマ数	4	5	

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務・診療情報管理コース)

担当教員 武川 真理子 実務経験: 医局秘書

目的	診療報酬請求事務の知識の習得と、実務経験上の特異的な実例のもとで、技術の向上を図る。また、医療秘書検定取得並びに診療報酬請求事務能力認定試験合格に向け、実務経験上の具体的な実例をもとに、医療人としての基礎知識、患者接遇、マナーの習得させる
----	---

授業概要	前期	後期
	① 医療保障制度のしくみ	① 入院料
② 請求事務の基本	② 手術料	
③ レセプトの基礎知識	③ 麻酔料	
④ 点数算定の原則	④ 在宅医療	
⑤ 基本診察料	⑤ 精神科専門療法、放射線治療	
⑥ 医学管理等	⑥ リハビリテーション	
⑦ 在宅医療	⑦ 患者接遇	
⑧ 投薬料	⑧ 公費負担医療	
⑨ 注射料	⑨ 入院レセプト作成	
⑩ 処置料	⑩ レセプト点検業務	
⑪ 手術料	⑪ 医療事務管理士検定対策	
⑫ 麻酔料(局所麻酔)	⑫ ”	
⑬ 検査料	⑬ ”	
⑭ 画像診断料	⑭ ”	
⑮ 外来レセプト作成	⑮ ”	

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数 課題提出10% 定期試験80% 資格取得10% 計100%での評価
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
	医療事務講座テキスト1～5 (ソラスト)	診療点数早見表 (医学通信社) ハンドブック(ニチイ)	

その他	1月 医療事務管理士認定試験
-----	----------------

syllabus

教科名 **医事コンピュータ**

	前期	後期	総時数 91
コマ数	2	0.5	

開講学科 医療事務学科 1年
(医療事務・診療情報管理コース)

担当教員 武川 真理子 実務経験: 医局秘書

目的	診療報酬請求事務の知識の取得と、医事コンピュータ入力技術の習得 実務経験を踏まえ、医事コンピュータ技能検定試験合格に向けての知識と技術を教える
----	--

授業概要	前期	後期
	① 医事コンピュータの基礎知識	① 医事コンピュータ技能検定試験対策 (2級)
② 基本診療料(初診・再診)	② 過去問題	
③ 投薬料(外来)	③	
④ 注射料(外来)	④	
⑤ 医学管理料	⑤	
⑥ 処置(外来)	⑥	
⑦ 手術(創傷処理)	⑦	
⑧ 検査(外来)	⑧	
⑨ 画像診断(外来)	⑨	
⑩ 伝票からの入力(外来)	⑩	
⑪ 入院料	⑪	
⑫ 医事コンピュータ技能検定試験対策 (3級)	⑫	
⑬ 伝票からの入力(入院)	⑬	
⑭	⑭	
⑮	⑮	

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数 課題提出10% 定期試験80% 資格取得10% 計100%での評価
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
	カルテ例題集 (ケアアンドコミュニケーション 株式会社) 診療点数早見表 (医学通信社)		

その他	6月 医事コンピュータ検定試験 3級受験 11月 医事コンピュータ検定試験 2級受験
-----	---

syllabus

教科名 ドクターズクラーク(電子カルテ)

	前期	後期	総時数 75
コマ数	2	0.5	

開講学科 医療事務学科2年
(診療情報管理コース)

担当教員 川淵 彩子 実務経験: 医療事務

目的	医師事務作業補助として業務を遂行するにあたり求められるスキルと、診療録・電子カルテ・個人情報・医療安全などについて学び、医師から信頼される医師事務作業補助者としての知識修得を目標とする。実務経験で得た実例のもとで、実践的な技術の向上を図る。
----	--

授業概要	前期	後期
	① 医師事務作業補助の誕生背景	① 問答形式問題①
	② 診療報酬での評価による対策	② 問答形式問題②
	③ 業務範囲・業務内容の理解	③ 問答形式問題③
	④ 個人情報保護	④ 問答形式問題④
	⑤ OECD8原則	⑤ 問答形式問題⑤
	⑥ 電子カルテシステム	⑥ 問答形式問題⑥
	⑦ 医療機関の安全管理	⑦ 電子カルテ検定試験対策
	⑧ 代行入力の業務範囲について	
	⑨ 院内感染予防	
	⑩ 病院交付診断書	
	⑪ 傷病保険診断書	
	⑫ 診療録記載・退院サマリー	
	⑬ その他、文書作成	
	⑭ 検定試験対策	

評価方法	期末試験と平常点による100点満点評価 期末試験50%、平常点(出欠席・提出物)50%
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
	医師事務作業補助者養成講座テキスト4点セット (ノラスト) 電子カルテシステムの理解と演習 (C&C)	USB	

その他	9月、11月、1月 医師事務作業補助者検定試験 11月 電子カルテ検定試験
-----	--

syllabus

教科名 PC基礎知識

	前期	後期
コマ数	1	1

総時数
74

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務・診療情報管理コース)

担当教員 伊東 登

目的	病院で使われている電子カルテシステムや医療情報システムについて、知識の習得と検定試験対策を行う。また統計処理について詳しい説明を行う。
----	---

授業概要	前期 概説	後期	
	① コンピューターの基礎(1)	① コンピューターの基礎	
	② コンピューターの基礎(2)	② ネットワーク技術	
	③ コンピューターの基礎(3)	③ データベース技術	
	④ 医療情報システムの構成と機能(1)	④ 情報セキュリティ	
	⑤ まとめ	⑤ 情報システム開発・管理	
	⑥ 演習	⑥ 医療情報の特性と医療情報システム	
	⑦ 情報システムの基盤技術(1)	⑦ 病院情報システム	
	⑧ 情報システムの基盤技術(2)	⑧ 標準化・情報分析	
	⑨ 病院業務と病院の運営管理	⑨ 広域の医療情報システム	
	⑩ 医療情報の特性と医療の情報倫理	⑩ 医療制度	
	⑪ 医療情報システムの構成と機能(2)	⑪ 診療プロセス	
	⑫ 医療情報の標準化と活用	⑫ 臨床検査	
	⑬ 演習	⑬ 臨床看護	
	⑭ 診療録他		

評価方法	課題提出50%、中間・期末試験50%、計100%での評価
------	------------------------------

教科書 教材	教科書	教材	備考
	医療情報の基礎知識(南江堂) 医事コンピューター技能検定問題集 (つちや書店)	プリント、DVD	

その他	医療情報技師検定、医療情報基礎知識検定
-----	---------------------

syllabus

教科名 ワープロ (Word)

	前期	後期
コマ数	1	

総時数
36

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務コース・診療情報管理コース)

担当教員 渡辺 亜弥

目的	検定試験に向けての説明。実技の練習。 また、社会で必要である実践的な技術の向上を図る。
----	--

授業概要	前期	後期
①	基本操作についての説明 検定についての説明→速度練習	①
②	速度練習 3級文書問題 説明→練習	②
③	速度練習 3級文書問題 説明→練習	③
④	速度練習 準2級文書問題 説明→練習	④
⑤	速度練習 2級文書問題 説明→練習	⑤
⑥	速度練習 準2級・2級文書問題 練習	⑥
⑦	中間試験(2級)	⑦
⑧	速度練習 準1級文書問題 説明→練習	⑧
⑨	速度練習 準1級文書問題 説明→練習	⑨
⑩	速度練習 1級文書問題 説明→練習	⑩
⑪	速度練習 1級文書問題 説明→練習	⑪
⑫	速度練習 準1級・1級文書問題 説明→練習	⑫
⑬	速度練習 準1級・1級文書問題 説明→練習	⑬
⑭	期末試験	⑭

評価方法	中間試験・期末試験・検定試験による100点満点の平均点数 (平常点も含む)
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
	Word2013 Office2016	検定試験過去問題 模擬問題集 授業用プリント	

その他	日本情報処理検定
-----	----------

syllabus

教科名 **表計算(Excel)**

	前期	後期	総時数 38
コマ数		1	

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務コース・診療情報管理コース)

担当教員 武川 真理子

目的	アプリケーションソフト・エクセルの機能と操作方法を理解させる。 関数を使った計算やデータを利用した集計などを教える。 また表やグラフの利用方法などを指導し、それぞれの学生のレベルにあつた検定を受験させる。
----	--

授業概要	前期	後期
		① 四則計算 関数①SUM・AVERAGE
		② 関数②COUNT・COUNTA 相対参照と絶対参照
		③ 関数③MAX・MIN 関数④ROUND・ROUNDUP・ROUNDDOWN
		④ 関数⑤IF 3級問題
		⑤ グラフ作成
		⑥ 関数⑥IF(複数条件) 関数⑦VLOOKUP
		⑦ 準2級・2級問題
		⑧ データベース関数
		⑨ 準1級・1級問題
		⑩ 各検定対策
		⑪
		⑫
		⑬
		⑭
	⑮	

評価方法	中間試験・期末試験による各100点満点の平均による評価
------	-----------------------------

教科書 教材	教科書 30時間でマスター(Excel) (実教出版)	教材 情報処理技能検定試験 (表計算)模擬問題集	備考

その他	毎年、7月・10月・12月・2月に検定試験を実施
-----	--------------------------

syllabus

教科名 プレゼンテーション(PowerPoint)

	前期	後期
コマ数	1	1

総時数	66
-----	----

開講学科 医療事務学科 2年
(医療事務・診療情報管理コース)

担当教員 余湖 祥博

目的
 プレゼンテーションツールを使用し、その操作方法の理解と活用の基本を学び自分の考えをスライドにまとめる知識を習得する。
 また、その知識を応用し病院実習の考察をまとめ発表できるようにすると共に、自己の音声・動画データの活用法やネット情報とのリンクについて学ぶ。さらに資格試験にも挑戦する。

授業概要	前期	後期
	① 基本操作と学習データダウンロード インターフェース・起動、保存、終了 ② 基本的なプレゼンテーションの作成 ③ スライドの修正法 表・グラフの基本について ④ 表の作成・グラフ作成と編集について ⑤ 図形の活用(挿入編集) SmartArtグラフィックの活用 ⑥ 画像の挿入と編集 ワードアートの活用 ⑦ 特殊効果の設定について アニメーション設定・画面切り替え設定 ⑧ アニメーションの活用について 総合復習からパワーポイント3級用問題Ⅰ ⑨ 音声入力について 総合復習からパワーポイント3級用問題Ⅱ ⑩ プレゼンテーションとスライドの効率的活用 総合復習からパワーポイント3級用問題Ⅲ ⑪ 発表者ビューの活用 目的別スライドの編集 ⑫ プレゼンテーションの流れと基本を確認まとめ ⑬ _____ ⑭ _____ ⑮ _____	① アプリケーションソフト(PowerPoint)の基本操作の確認・発表スタイルの検討 ② 発表用プレゼンテーションの流れと確認 プレゼンスタイルの決定 ③ インタネットとデータ収集について 実習内容のデータ入力① ④ 画像編集と外部データ活用 実習内容のデータ入力② ⑤ 画像編集と外部データ活用 実習内容のデータ入力③ ⑥ 外部情報とのリンクについて 実習内容のデータ入力④ ⑦ スライドショー編集(アニメーション・画面切り替え) 実習内容のデータ入力⑤ ⑧ スライドショー編集 完成 ⑨ 仮発表会実施 ⑩ 仮発表後のデータ・時間等の修正 ⑪ 実習報告の発表会実施 ⑫ 音声入力完了データのCD書き込み ジャケット作成 ⑬ _____ ⑭ _____ ⑮ _____

評価方法
 前期 実技試験により100点満点
 後期 課題提出にて評価

教科書 教材	教科書	教材	備考
	よくわかるPowerPoint2013 基礎(FOM出版)		

その他
 PowerPoint2013検定試験3級

syllabus

教科名 コミュニケーション技法

	前期	後期
コマ数	1	

総時数
36

開講学科 医療事務学科 1年
(医療事務・診療情報管理コース)

担当教員 松前 葉子 実務経験: コミュニケーショントレーナー

目的	コミュニケーションスキルを巧みに使い、社会人として必要なコミュニケーション能力の向上を目指す。実務経験を通し、より良いコミュニケーションスキルを学び、柔軟性のある人間関係構築を理解する。
----	---

授業概要	前期	後期
	① コミュニケーションとは	①
② 初頭効果について	②	
③ 価値観について	③	
④ コミュニケーションの仕組み	④	
⑤ コミュニケーションタイプについて	⑤	
⑥ 観察力を養う	⑥	
⑦ 非言語のワーク	⑦	
⑧ ペーシング	⑧	
⑨ リフレーミング	⑨	
⑩ 質問カトレーニング	⑩	
⑪ アサーション	⑪	
⑫	⑫	
⑬	⑬	
⑭	⑭	

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数 課題提出40% 定期試験50% 出欠席10%、計100%での評価
------	---

	教科書	教材	備考
教科書 教材	プリントを配布	プリント	

その他	
-----	--